

事も要望させていただいたところでございます。その際、知事からは、前向きな回答をいただいたところでありまして、この用地交渉につきましても、知事のほうからできる限りの協力体制をお願いしたいということで、私のほうといたしましても、できる限りの協力体制を敷いてまいりたいということで回答をさせていただいたところでございます。

○議長（小川 廣康君） 11番、山本輝昭君。

○議員（11番 山本 輝昭君） 積極的に協力した体制をとるということですが、職員の配置については、難しい面もあろうかと思いますが、やはり、用地を主にするのか、通常の仕事を主にするのかによって、その職員の対応の違いがあると思います。過去に目保呂ダム当時に、旧町時代にはやはり職員の派遣をしたり、県工事の用地交渉に携わるのを主にした職員を配置したりして、事業を推進しております。まだまだ全体事業で80数億、事業費ベースで50%ですから、40億ぐらい済んでおりますが、まだ四、五十億かかる大事業です。やはり、職員を配置できないにしても、主たる仕事の中の1つとなるような職員の、できれば北部事務所等に配置といえますか、そういった形がとれないか、どうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほども申しましたように、県知事からのほうも協力体制をお願いされました。私たちといたしましても、この河川の改修につきましては、市民の皆様の命にかかわることでございますので、また、県知事のほうからの要請等があれば、あえて専門職まで踏み込んだ検討も必要じゃないかなというふうな考え方は持っておりますので、このことにつきましては、今後、県のほうともまた協議等を進めさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 11番、山本輝昭君。

○議員（11番 山本 輝昭君） ありがとうございます。最後に前向きな回答をいただきましたので、私の質問はこれで終わらせていただきたいと思います。佐護地区の区長初め役員の皆さんも積極的に自分たちのできることは協力体制をとりますといった力強い言葉もいただいておりますし、安心な地域社会生活ができるよう、どうか積極的に整備については協力をいただきたいと思います。ありがとうございました。引き続き関連質問として、同僚の伊原議員のほうに質問させていただきます。

○議長（小川 廣康君） 関連質問に入ります。新政会、2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 会派新政会の関連質問をいたします伊原と申します。どうぞよろしく願いいたします。

初めに、私ども会派新政会は、7名の会員総意による共通認識の中で、市民の皆様から御意見や御要望を市政に反映すべく、市政に対して是々非々で取り組んでいるところでございます。

さて、先ほど会派代表質問では、災害における本市の取り組みとして、特に防災対策を重点と

した内容でございました。私からは、1点目に観光産業の新たな誘客への取り組みについて、2点目は、観光振興等を含めた交通アクセス整備について、代表質問にありました強靱なしまづくり、地域づくりをキーワードに関連質問をさせていただきます。

それでは、1点目の観光産業の新たな誘客への取り組みについてでございます。

先般の新聞報道によりますと国内の10月の諸外国からの旅行者は、台風19号による航空路等欠航の影響などから、推計値でございますが、対前年度比で5.5%減少、特に韓国からの観光客は65%減少し、大幅に落ち込んだとことが観光庁より発表されておりました。

先日、北部方面に行く機会がございました。国道や県道で国際免許ステッカーを添付した数台のレンタカーに遭遇をいたしました。また、大型バスでは、国内各地から観光客がお見えになるなど、国内外から少しずつでございますが、観光産業に潤いと活気をもたらしているように感じられました。しかし、韓国からの観光客激減により、本市の直近の観光客数は、対前年度比で約9割減、観光関連の従事者の雇い止めなどが発生するなど、対前年度と比較しますと、観光産業に陰りが見えてまいりました。

特に、8月ごろより韓国からの観光客を対象とした、しまの経済効果は大幅に下回り、観光産業における業績回復のための経済効果を高めるため、特化した施策が求められております。

さて、壱岐、対馬、五島は日本遺産として、また朝鮮通信使に関する記録がユネスコ記憶遺産に登録されたことは、本市にとりましても栄誉なことでございます。

さらに、本年9月の国営放送では、江戸城などの7つの城の中から、国指定の特別史跡の金田城が最強の城に選ばれました。

これらの史実を国内外や後世に伝えるにふさわしい観光産業の新たな誘客のための観光商品が加わりました。特に、来年開催の東京オリンピック、パラリンピックに来日される国内や諸外国からの訪問客に日本遺産や記憶遺産、さらに金田城めぐりなど、歴史の魅力を情報発信する最良の機会と思われまふ。政治に翻弄されることなく、魅力あるしま旅の継続を考えた商品化の取り組みなど、最良の機会である今、観光振興策はどのように進められているのか、お尋ねをいたします。

2点目の観光振興等を含めた交通アクセス整備についての質問でございます。観光振興を高めるためには、北部から南部までの観光史跡を含めた一部の国県道や市道などの縦貫道整備はややおこなわれていると感じられます。本市の一部の地域でございますが、本年9月の台風17号の影響により、集中豪雨による民家への汚泥水の浸水、農林漁業への被害や国県道や市道の崩壊など、復旧までに時間を要する災害が発生しました。近年地球規模の環境変化により、世界の国々で多大な災害が発生し、生活環境に影響を及ぼしています。国内では、台風による集中豪雨など、甚大な被害が発生し、未だに災害復旧半ばで苦しい生活を強いられている地域もでございます。災害

は、起こり得ることから国も国土強靱化に向けて計画策定が進められており、本市においても災害に強い強靱なしまづくり、地域づくりが求められています。私の懸念している事案としまして、北部から南部へ通じる最も交通量の多い国道382号線の万関橋や大船越の南部地域に架かる橋が万が一不通になったらどのような影響を及ぼすのか、私自身の空想の範囲ではございますが、通勤、通学、救急搬送、物流、観光アクセスなどに甚大な影響を及ぼすことは言うまでもございません。また、北部から南部間の縦貫道のみでは災害発生時の観光産業や観光振興に及ぼす影響は無限に等しく、本市の経済は失墜する可能性が考えられます。これらの懸念を解消するには、例えば、豊玉町浦底付近から、または小船越付近から美津島町雞知に通ずる東海岸、もしくは西海岸に循環道として、または迂回路として新たな道路整備が必要と感じられますが、いかがでございましょうか。

さらに、観光産業のために、新たな誘客には、国県道及び市道の未改良区間の整備、また観光地に通ずる未改良区間整備、迂回路を含めた交通アクセス整備とあわせて万が一災害が発生した場合、それぞれの集落が島の中で陸の孤島にならないよう、強靱なしまづくり、地域づくりは必要と認識をしています。これらの達成には相当の時間と莫大な予算が伴いますが、これからのしまづくりとして、壮大な事業計画ではございますが、最重要施策として取り組むお考えはないでしょうか。市長の御見解についてお尋ねいたします。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 新政会、伊原議員の御質問にお答えいたします。

初めに、観光産業の新たな誘客の取り組みについてでございますが、対馬の魅力は、歴史と自然であります。世界記憶遺産も日本遺産も対馬の歴史を代表するものが選ばれております。9月16日にNHKで放送されました「あなたも絶対に行きたくなる日本最強の城スペシャル」では、日本遺産でもあります金田城が見事に江戸城等をさしおいて、最強の城に選定されました。この放送以来、観光物産協会には問い合わせが相次いでおりまして、訪れていただく観光客もふえていると報告を受けているところでございます。対馬の歴史の旅行商品化につきましては、金田城めぐりツアーでありますとか、神社めぐりツアーを商品化している旅行社が1社あります。また、国境離島交付金の助成金がある「しま旅商品」の体験メニューといたしまして「国境の島・対馬日本遺産を歩く対馬藩主・宗家コース」がありまして、城下町エリアをガイドつきで散策する商品もありますが、大多数が万松院やお船江、和多都美神社、烏帽子岳といった対馬旅行の黄金ルートというべき商品を扱っているようでございます。現在、対馬観光のあり方検討会を立ち上げまして、対馬観光の目指すビジョンを協議しているところでございます。12月中には提言書をまとめられ、その内容は来年度策定予定の対馬観光振興計画に反映させる予定としております。

この中でもやはり歴史、文化の部分は重要な要素として取り上げられておりまして、朝鮮通信使や金田城を代表する大陸との歴史について、砲台跡や万関瀬戸といった国防の近代化遺産について、万松院や武家屋敷といった江戸時代の城下町について、そして、神々の島である神社についてなどもっともっと磨き上げる必要があるというような意見が出されているようであります。今後の具体的な取り組みといたしましては、アクセス道路の整備やガイド育成、メディアへの露出、旅行社訪問といったPR活動など、基本的な取り組みも実施してまいりたいと思っておりますが、最近では、体験をしながら歴史に触れるというような体験型旅行が人気となっております。この体験をキーワードに対馬にある魅力を絡めまして、さまざまな旅行商品ができないかということをお馬観光物産協会や旅行社とともに協議をしているところでございます。また、市内の観光産業に従事されていらっしゃる方々の意識改革のためのおもてなしのセミナーや企業の新人研修、リーダー研修、学生の体験学習、スポーツ合宿など、現在ある対馬の施設や自然を生かした滞在型研修についても取り組んでまいりたいと考えております。

次に、観光振興等を含めた交通アクセスの整備についてでございますけれども、伊原議員御指摘のとおり、縦貫道であります国道382号及び幹線と言われる県道市道におきましても、未改良区間が存在し、生活道としてはもちろんのこと、各観光地へのアクセス道路としても十分でないことは承知しているところでございます。特に、議員が懸念されてあります。豊玉町浦底から美津島町雞知までの区間は迂回路もなく、重要構造物でありますトンネル、橋梁も多くございまして、万が一これらの施設が被災を受ければ、通行不能となる可能性もありまして、憂慮もしておりますし、そういうことから、ダブルネットワーク構想といたしまして、雞知から浅茅湾をまたいで豊玉まで渡るルートを構想といたしまして、県のほうに要望もした経緯もございまして、しかしながら、この区間の迂回路となりますと、距離も長く地形的な面からも莫大な事業費と相応の期間を要することが想定され、実現は非常に厳しいとの認識もございまして、県におかれましても、現状は十分に御理解いただいているところでございますけれども、現道の未改良区間の解消及び強化に向けた現道施設の防災・減災を優先して整備を進めていただいているところでございます。

次に、国県道を含みます市道・林道の崩落によりまして、交通が寸断されることで観光産業へのマイナスイメージ、そして日常生活への悪影響との御指摘がございましたが、市道・林道につきましては、現在通常の道路改良事業とは別に地域再生基盤強化交付金事業が活用できないか、検討を行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） それでは、第1点目の観光振興策との取り組みということで、皆様、既に御承知と申しますけれども、韓国からの観光客が減少傾向ということで、直近の11月

未現在でちょっと資料いただいたんですけど、前年の11月と当年度の11月の数値を確認をさせていただきます。前年度の11月が入国は3万8,148名、それから本年11月が4,758名と、マイナス3万3,390名、約9割弱ということは間違いないとでございます。これを1人当たりの消費額大体1万5,000円、市のほうは2万円とか2万5,000円とか設定されてありますけれども、低く見積もって1万5,000円とした場合に、1カ月の経済損失5億円程度になろうかなと。やはり、韓国からの観光の落ち込みが観光産業に多大な経済損失がありますということで、この件に関しては、今後の大きな課題、これから恐らく数年、V字回復をするまでには当然数年かかるんじゃないかなろうかと思っております。先ほど北部のほうに行く機会という話をさせていただきましたけれども、レンタカーが若干やっぱり少しずつ国際免許のレンタカーが少しずつふえているんじゃないかなと。個人の方々は、従来どおり今見えてあるみたいで。これは11月の状況でございますけれども、厳原の免税店、当分営業休止ということで、スーパーあたりも今ほとんど韓国の方がお見えでないような状況でございます。昨年11月あたりで1,113名減少ということで、これ、当年度が11月が1日当たり、11月のみです159名ということで、ゼロではないということなんですが、これらの状況でございます。相手方がいるわけでございますので、これについては、もう今のところにもかくにも従来の40万人相当の皆様がお見えになるようなことを少しずつすべきであろうというふうに考えております。

福岡空港の半期決算が先般発表されておりました。韓国からのやはり減便で、着陸料の影響に純損失を計上したと。このことから推察いたしますと、韓国からの観光客激減により九州各地でまた国内各地の観光地で、本市のみならず経済に影響が出ております。先月、谷川先生が、対馬新聞でちょっと確認させていただいた、けさいただいたんですけど、谷川先生が事務局担当なさっています九州国会議員の会の先生方がお見えで、観光に向けたしまの現状を調査検証されると思いますが、これらに主な協議内容、その先生方との協議内容がもしあれば、少しお知らせを、観光に関する事案ですので、お知らせをしていただきたいと思います。もしなければ結構です。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 九州国会議員の会の今村先生、谷川先生、武井先生、3名の方がお見えになられて、またその随行といたしまして、観光庁やら運輸局、国交省等、いらっしゃいました。その会議関係の内容につきましては、やはりどのような形でこの対馬にお客を送り込むかというようなことを、むしろ国会議員の先生のほうから、各官公庁の方たちに何か意見はないのかというような御意見等もあったところでございます。その会議録等をまとめられたものにつきましては、私、きょうは持ってきておりませんが、実は、情報がございまして、今回の九州国会議員と対馬の方たちとの会議録はおそらく安倍総理の目に触れるんじゃないかというようなことまで記されて、こちらのほうに来ております。そういうことで、大変期待もしておりますし、また、

先生たちには感謝をしているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 対馬にとってやはり観光産業が一番の経済を高めるための施策と
思っております。国も、官民一体となって取り組みが行われていますので、このことが一過性に
終わらないように継続した取り組みが必要かと考えております。国も補正予算で農業支援を柱と
した経済対策の一環で特に対馬の観光振興に配分するということが報じられておりました。観光
振興のさらなる充実に向けて、県も市も懸命に取り組んでいる中で、議会代表としてこのもろも
ろの会議等にも当然参画が必要と感じておりますので、機会がございましたら、お声かけを1つ
よろしくお願ひしたいなと思っております。

観光産業の新たな誘客の取り組みについては、あらゆる角度から観光産業の継続のため、新た
な誘客に向けて取り組みが実践されていることは十分理解ができました。観光客を受け入れるた
めには、観光地に通ずる国道、県道、市道の整備がまだまだ不十分です。観光振興等含めた、交
通アクセス整備について進めますので、よろしくお願ひいたします。

会派代表質問の中で、河川の改修というお話がございました。これ、県が所管する2級河川の
お話でございましたが、私が懸念したいのは、地区内を流れている普通河川。これ、やはり山か
らの土石が堆積して河川が氾濫し、それからいろいろな宅地に冠水をするという事例が既に9月
の17号で発生をしておりますので、これらをやっぱり川底を少し掘り下げるとか、このあたり
を2級河川と一緒にした地区内の普通河川の調査、これ、やはりコンサルあたりを職員さんが
いろいろ日々、業務多忙でございましょうから、コンサルを入れた、そういった検証作業が必要
じゃないかと感じておりますので、これも一緒に同時進行で少し市のほうも取り組んでいただ
きたいと思っております。

それで、実は、観光地の道路事情でございますけれども、先般、姫神山砲台にレンタカーを借
りて行かれた観光客の方から少しお話があつて、パンクしたと。非常にこれ、携帯電話もつな
がらないところもございましょう、非常に不安じゃなかったかと思ひます。このことは、レン
タカーの会社の関係者から是が非でもこのことは伝えていただきたいと。国県道のみならず、や
はり観光地へ通じるこういった悪路もございまして、やはりその観光振興を今後いろいろお考
えになる過程の中では、この国県道のみならず観光地へのアクセス道路、これも十二分に調査を
していただきたいというふうを考えております。

それから、国県道の道路事情ということで、御回答いただきましたけれども、今のところ全体
で19カ所、まだ未改良、未整備地区、国道が4カ所、それから主要地方道を含む県道が15カ
所、これらがまだ未改良区間がございまして。壮大な計画でございましてけれども、先ほど市内各地
から、各所から万が一災害で交通手段が閉ざされた場合でも迂回路が循環できる道路が求められ

ております。先ほど県のほうからダブルネットワーク構想、県に要望して頓挫しておるという状況でございますけれども、これはやはり観光の目玉として、非常に私は有用じゃないかと思っております。こういった復活をして、何らかの形で観光名所、また新たな観光名所となるようなことで、少しお考えが必要じゃないかと思いますが、この復活について、意気込みを少しよろしければお尋ねしたい。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、ダブルネットワークの前に、普通河川の整備について御指摘がございましたけれども、まず、普通河川のほうは補助事業が適用ができないということで、なかなか難しいところもございますけれども普通河川の中でも、内山川の河川改修につきましては、たびたび川が氾濫をして、農地等を浸水しているというようなことで、ことし、来年ということで、約1億ちょっと超えるぐらいの起債事業でやるように準備をしております。これは、緊急自然災害防止対策事業を適用をさせていただきたいと思っております。それとまた、御指摘の河床の掘削等につきましても、この台風17号、19号の際にも、特に緊急なところは、土砂の除去等をさせていただいたところでございますが、今後も引き続き調査の上、必要なところから進めてまいりたいというふうに考えております。

次に、ダブルネットワーク構想について、諦めずにとこのようなお話でございますけれども、決して諦めているわけではありません。実は、この構想につきましては、熊本地震の際に、阿蘇の大橋が崩落いたしまして、その関係で迂回路が必要じゃないかというようなことが全国的に指摘をされている中で、対馬市といたしましてもこの構想を再度持ち出して、まず県のほうに要望をいたしました。その上で、なかなか今の時点では難しいというようなことでございました。それと、これは国の国交省のほうで石井大臣が来島された折に、港湾局長も随行されておまして、港湾局長さんのほうにもこのことを御相談を申し上げておりました。そういたしますと、港湾局長さんといましては、確かに必要性はわかるけれども、むしろきれいな浅茅湾に人工物、構造物をかけることは、よくよく考える必要もあるんじゃないかなというようなこともおっしゃってありました。そういうことでございますけれども、議員御指摘のように、沖縄の宮古島では、この橋が本当の観光PRになって、かなりのお客さんが押し寄せているというようなことでございますので、このことも含めまして、そして諦めることなく、今後もまた要望等をしてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 普通河川については、引き続き調査研究をお願いいたします。それから、浅茅湾も確かに景観、風光明媚な景観でございますけれども、そういった日常のいろん

な問題が発生した場合を考慮して、やはり私は進めるべきだと思っておりますので、ひとつネットワーク構想につきましては、ダブルネットワーク構想につきましては、またひとつよろしくお願いたします。

それから、観光地の関係でございます。先般、上見坂公園までちょっと少し登ってみました、久しぶりに。巖原中学校から十数分で頂上まで到達いたしましたけれども、うっそうとした木々の中で、非常に今も昔も変わらない道路が続いていると、これは少し観光地として1つの名所となっておりますので、このことも踏まえて、やはり整備計画、そういった観光地のアクセス道路の整備計画も少し重点目標として進めるべきじゃないかと思っております。これも、上見坂に限らず、いろんな、豆殿崎もそうでしょう。一方通行しかございませんので、このあたり、本当の誘客をするということになりますと、まだまだ不十分でございますので、このあたりも、今後重要施策の一つに数えていただきたいなと思っております。

観光振興を考えますと、対馬市の道路整備促進ということで、トップダウンで実行されるお考えも十分今ひしひしと感じてまいりました。あと、8分でございますけれども、なかなか予算的にも厳しい状況でございます。やりますとは今言えないと思っておりますけれども、潤沢な予算が伴えば、即実行に移すことは可能でしょう。観光振興策を進める上で避けて通れない最重要施策です。これ何回も言いますが、今できないとこれからもできないと思っております。市長、比田勝市長の今の市政の中で、このことは継続的に進めていただきたいというふうに考えております。私の思いが伝わったと感じますけれども、若干消化不良でございますけれども、もう時間がまいりましたので、関連質問をこれで終わります。

以上です。

○議長（小川 廣康君） これで、新政会の会派代表質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩をします。再開を11時15分からといたします。

午前10時59分休憩

午前11時15分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

休憩前に引き続き、会派代表質問を行います。清風会、8番、淵上清君。

○議員（8番 淵上 清君） 清風会の淵上清であります。質問に入ります前に、市長、比田勝市政第1期目も余すところ4カ月弱となってまいりました。まさに、1期目、仕上げの時期でございます。市長就任時の公約の成果を一つ一つ検証して市民の皆さんからよくやったと評価を受けるよう、最善の市政運営に邁進すべきラストスパートの時期であります。そういうことをしつ